

ベトナムでのりんごプロモーション

青森県農林水産物輸出促進協議会

<実施概況>

区分	概要
場所	ベトナム ハノイエリア 果物専門店 (30店舗) ホーチミンエリア スーパー等 (36店舗)
期間	ハノイエリア 令和6年1月27日(土)~28日(日) 延べ60日間 ホーチミンエリア 令和6年1月20日(土)~2月4日(日) 延べ80日間

<フェアの概況>

○各店舗にポスター等で装飾した青森りんごPR・販売コーナーを設置し、販売員がりんごを試食提供しながら、青森りんごの品質の高さをPRした。

<消費者や販売店舗等の反応>

○日本産りんごは高価、高級、高品質のイメージが浸透しており、旧正月前には富裕層を中心にギフト需要が確立されている。他国産に比べ大きく、見た目もきれい（特に陸奥）で、食味も良いと高い評価を受けている。

○人気品種は陸奥、王林、金星、世界一で、ジョナゴールド、ふじ、サンふじは他国産との差別化が難しく販売に苦戦した。

○旧正月直前のフェアとなったため、青森りんごはお供え用、家族で食べるのはチェリーという消費者が多く、販売数量は、旧正月後にフェアを実施した前年度に及ばなかった。

<課題及び今後の対応等>

○旧正月直前は、外観が優れた品種の人気が高いことから、主力品種のふじ（サンふじ）については、旧正月後のプロモーションにも取り組んでいく。

○ハノイ、ホーチミンに加え、人口が多く富裕層も増加しているダナン、ハイフォン、ビエンフォアなどへの取組拡大を検討していく。

